



土井首 “ゆうこう” だより 7月号



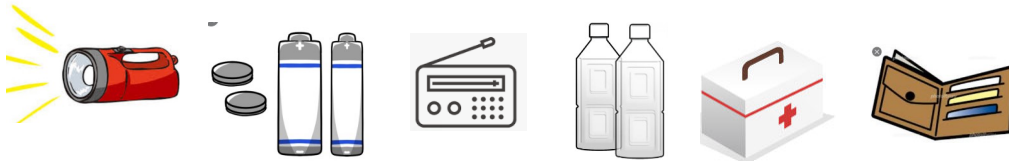
自然災害に備えましょう！

自然災害が発生しやすい季節になりました。

「居安思危」(こあんしき)安きに居りて危うきを思う思えばすなわち備えあり備えあれば患い無し。これは、中国から伝わったことわざで、平安無事なときにも、危難に備え、用心を怠らないという意味です。令和2年の台風10号の際には、市内の各種店舗でガムテープ、乾電池、ペットボトルの水、携帯電話用モバイルバッテリー、ブルーシートなどが売り切れになりました。このことを教訓として、**早めの備えを心がけましょう。**いつ大きな災害が発生するか誰にも分かりません。日頃からテレビやラジオなどの気象情報に十分注意してください。

「備え」の一例

- ・非常用品の確認
懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池)、救急薬品、衣類、非常用食品、携帯ボンベ式コンロ、貴重品など
- ・室内の安全対策
飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。
- ・水の確保
断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。



コロナ禍における感染症対策版の心肺蘇生法について

新型コロナウイルス感染が拡大しており、人との接触には常に感染リスクがあります。

それは、倒れている人を助けようとした時と同じで、救助者には感染してしまう危険性が付きまといまいます。安全に応急手当をする方法をたくさんの人に伝えたい！。

安全に！お互いの大切な命を守るために！

救命への熱い想いを込めて、**新型コロナウイルス感染対策版**の心肺蘇生法解説動画を長崎市消防局が作成しましたので、ぜひ！！ご覧ください。

自宅のできる練習方法も紹介しています。



左のQRコードで動画にアクセスできます。

<https://youtu.be/EHJLh8C1Axw>



問合せ先 長崎市消防局警防課
822-0448

土井首地域センター 文責：水田
問合せ先 878-4534